

2007年10月～12月 =比較芸術フォーラム=

ワークショップ『音楽機械のための作曲』

会場：東京大学駒場博物館

駒場博物館の秋の展覧会『機械じかけの音楽』のスペシャル・ゲストとして来日する機械芸術家マーティン・リッチズ(Martin Riches)は特別講義として大学院生向けのワークショップを開きます。ワークショップでは主に展覧される音楽マシン [Serinette (鳥オルガン)、Flute Playing Machineなど] のために実際に作品を作る指導を受けられます。ワークショップの最後には学生の作品の発表会を行います。(作曲の経験がなくても参加できます。)

マーティン・リッチズはドイツ・ベルリンに暮らしているイギリス人芸術家です。かれの作品の変わらぬテーマは「機械」ですが、視覚と聴覚による鑑賞が一体になることが特徴です。その作品には「音楽機械」(music machines)が多く、その一部には作曲家と一緒に開発したものもあります。今回の展覧会には日本の作曲家三輪眞弘との共同作品も紹介されます。

なお東大の大学院生はこのワークショップを総合文化研究科超域文化科学専攻の授業として履修でき、単位になります。参加者の学生数を15人以下としますが、許すかぎり他大学の学生の参加を認める予定です。しかし、希望者多数の場合、選考を行います。

大学院生対象ワークショップ・スケジュール

- 第1回 10月12日(金) 18:00～20:00 ガイダンス
- 第2回 10月27日(土) 10:00～12:00, 14:00～18:00
- 第3回 11月17日(土) 10:00～12:00, 14:00～18:00
- 第4回 12月1日(土) 18:00～, 公開プレゼンテーション※
- 第5回 12月5日(水) 18:00～20:00

※ 機械音楽とピアノコンサート：12月1日(土)

- 第一部：ワークショップ・プレゼンテーション 18:00 東京大学駒場博物館
- 第二部：松山元(ピアノ) 19:00 駒場コミュニケーション・プラザ北館2F 音楽実習室

マーティン・リッチズ Martin Riches

1942年、ワイト島生まれ。ベルリン在住イギリス人。ロンドンの著名な建築学校であるAAスクール(Architectural Association School of Architecture)で学び、最終学年にはアーキグラム(Archigram)の創立者ペーター・クック(Peter Cook)に師事した。1971年、いわゆるサウンド・アート分野で最初の作品を発表したが、1978年以後はもっぱらアーティストとして活動。「音楽機械」(music machines)の制作者として知られており、多くの作曲家が曲を提供している。機械とライブ演奏共演の作品もある。また、キネティック・アート(Kinetic Art)、話す機械(talking machines)、時計制作技術(horology)に関心を持っている。日本では1991年名古屋国際ビエンナーレ等に参加。1999年にICC ビエンナーレ '99(東京)で、「Interactive Field」を発表し、準グランプリを受賞している。

関連イベント

- 展覧会：特別展「Musica ex Machina —機械じかけの音楽—」 10月20日(土)～12月2日(日) 東京大学駒場博物館
- 国際シンポジウム： 12月1日(土) 東京大学 駒場キャンパス/学際交流ホール
12月2日(日) 東京大学 教養学部18号館ホール
- 自動ピアノ演奏会：10月31日(水)18:30 東京大学駒場博物館2F

主催：日本学術振興会科学研究費補助金研究プロジェクト

「音楽文化における機械の役割-その歴史・現状に関する多面的分析と展望」
(研究代表者：ヘルマン・ゴチェフスキ東京大学准教授)

共催：東京大学駒場博物館(大学院総合文化研究科 教養学部)
東京大学 大学院総合文化研究科・比較芸術フォーラム

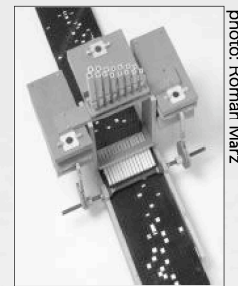
後援：ドイツ学術交流会(DAAD)

問い合わせ / 申込み先：ゴチェフスキ ヘルマン准教授

東京大学 大学院総合文化研究科 超域文化科学専攻 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

E-mail : gottschewski@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp

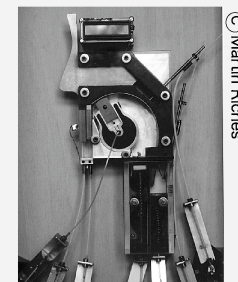
URL : <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/2007.html#musica>



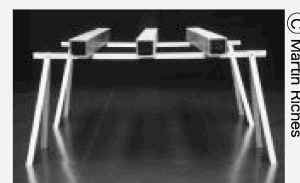
Serinette : Martin Riches



Flute Playing Machine : Martin Riches



Motor Mouth: Martin Riches



Ein Ton : Martin Riches

